

囚われの

蝶

は

命
果

てるまて





悟が失踪して、
数ヶ月あまりが経った。

警察は
まだ動いているようだが、
未だこの平穏が揺らぐような
大きな動きはなかった。

…拍子抜けだ。



まあ、僕にとっては
都合のいいところの上ない。

ただいま。
いい子に待ってたね。

ずっと探していた。
足りない何かを。

けして
満たされることがなかった、
心の穴を埋める存在を…

やっと手に入れた。





おかえりの
ちゅーして。



今やすっかり
僕の言うことを
素直に聞くようになった。

いい子だ悟。

ベッドに座って。

懐いている…
とまではいいかないが、
最初に比べれば、
確実に許容してくれている。



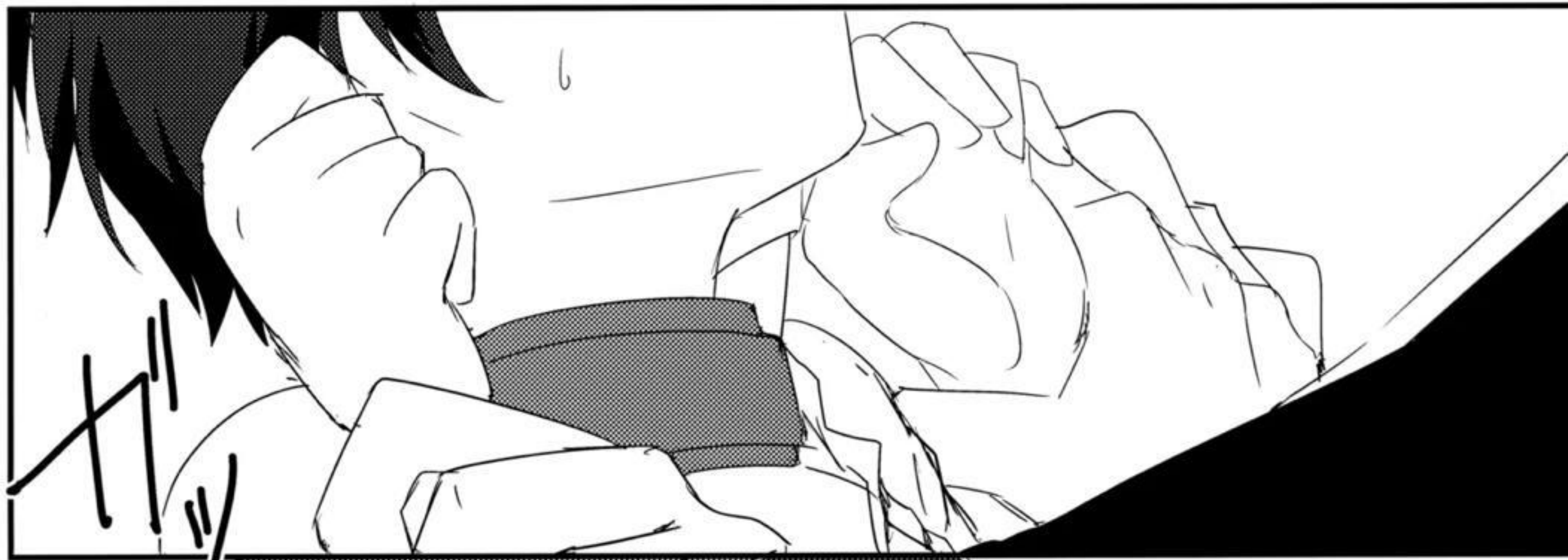
所謂、ストックホルム症候群…
というやつなのだろうか。

故意ではないが、悟相手には、
つい甘やかしてしまったことが、
結果的には正解だったのだろう。

まあ、悟が僕を
心から愛してくれているか
なんて、さして問題ではない。

そんなことより、
僕にとって大事なものは…

ぽす。



悟が僕の殺意を逃れた、
第二のスパイスなら…

ただ側に置いておければ
他にはなにもいらない。



…まだ怖い？









彼は快樂のままに、
自我を失っている
というわけではないようだ。

いふよ。

いっぱい教えてあげる。

むしろこの状況で、
まだなにかを
救おうとしている。



掌握しているのは、
僕の方じゃない。



こうして悟に
陵辱の限りを尽くしてもなお、
僕は悟に心を掌握されている。

現に今彼は、
この街で起きたはずの殺人を、
僕の心を満たすことで、
僕の殺人欲求を殺している。





ぢゅぽ

いい子だ悟。
ご褒美をあげような。



殺さない代わりにと言って、
僕は悟を誘拐した。

それなのに……

は……

せ……
せんせ……

悟は、怯えはしたが、
けして僕を
憎んだりはしなかった。

人を殺すことでも

埋められなかった
心の穴が……

目の前にいる少年によって、
満たされて続けている。

なぞ

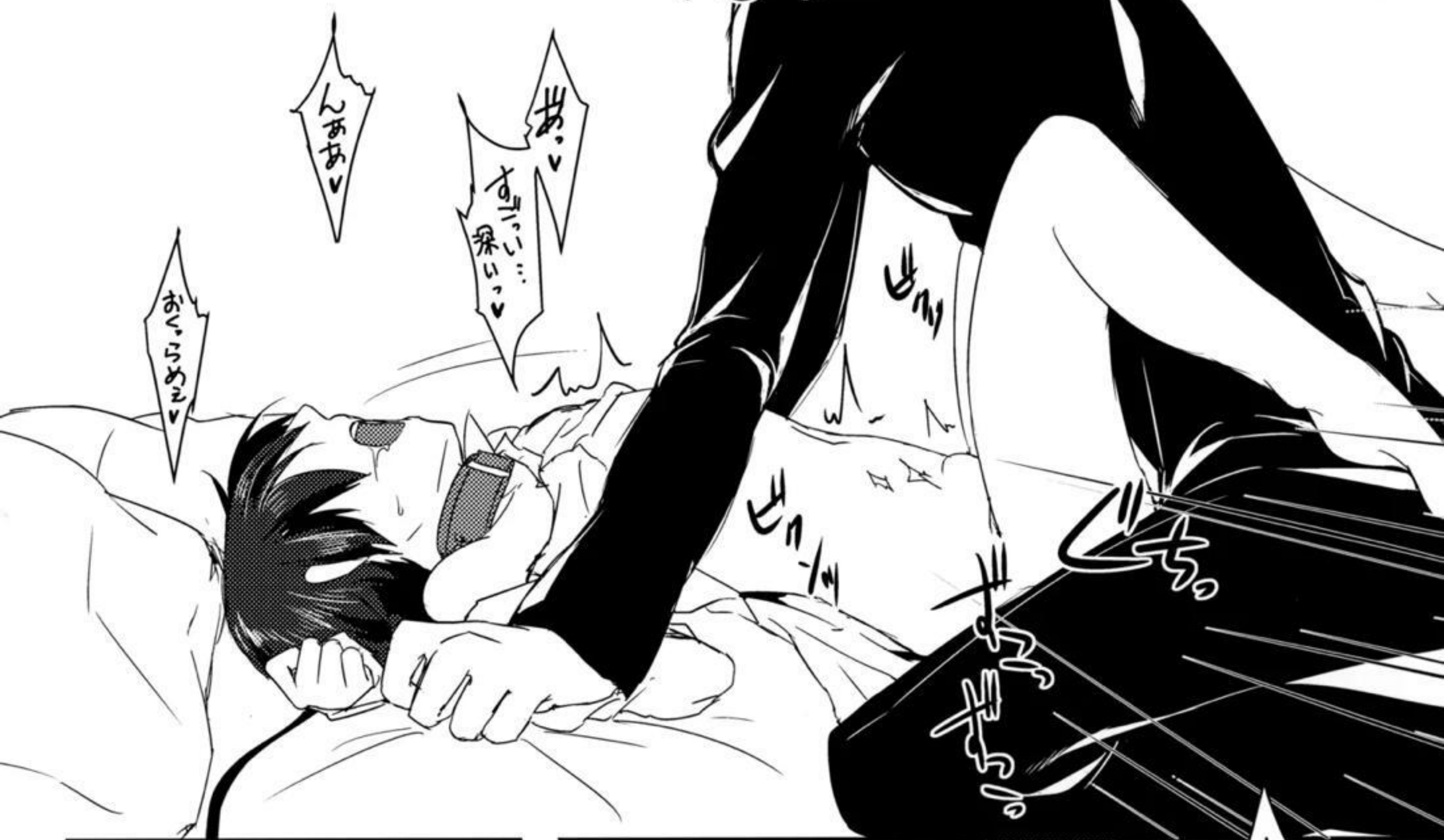
なぞ

やっ

んま

……
D

んしゅ



いっだったか……
その快楽を受け入れたとき、
鮮明に思い出したんだ。

あの暗い、
冷たい川の感触。

息苦しいなんて、
生易しいものじゃない。

激痛を伴いながら、
ゆつくりと
死の恐怖が這い上がる。

悟。…出ずぞ。

リバイバルを繰り返して、
何度も死を体験して、
ようやく理解した。

八代の心を救う以外に、
生きることには許されないと……



でも、今では
それでいいと思ってる。

心の底から、
俺は八代を救いたい。
守りたいと思ってる。

悟。ありがとう。
今日も満たされたよ。

うん……

嬉しい。先生に
喜んでもらえて……

ん……

自分でも不思議だ。
八代は……
自分を殺した相手なのに……

ふあ……

閉ざされた苦痛を思い出しても、
嫌悪も憎悪もない。

あるのはただひとつ、
八代への慈愛のみ。

どんなに手酷く犯されたって、
この悲しい殺人鬼の心が救われるなら、
ひとりぼっちをなくせるなら……

一生囚われの身でも構わない。
死ぬまで、八代の側にいたい。

リバイバルは……
二度と起こらない。



【あとがき】

この度は、本を手にとりいただきありがとうございます。

5月に出した本の続きであり、誘拐された悟になにが起きたのかを明確化する話とさせていただきました。

もし川に落とされた悟が救われずに死んでしまい、その後リバイバルをしたら。
もしリバイバル後にも、八代の魔の手から逃れられないとしたら。
そんなIF願望でできた話でした。最後まで描けて満足しております。

この話の続きについては描く予定はございませんが、
同じ世界線の、誘拐、監禁ルートに至るまでの話を形にしようと思っております。

今後も性癖に忠実に、やしサトを幸せにするため精進する所存でございます。
最後までお読み頂きありがとうございました。

【奥付】

タイトル:

発行年月日: 2017年8月20日

参加イベント: SUPER COMIC CITY 関西23

サークル名: G_Babylon

サークル主: レイ凍みかん

Twitter: Rey_Babylon

印刷会社名: 株式会社ホープツーワン様

